

平成 2 9 年度 志摩市磯部プール倉庫解体工事

(A 2 A 3 縮小版)

西沢建築設計事務所

工事名 : 平成29年度 志摩市磯部プール倉庫解体工事

解体工事概要

1. 工事場所 志摩市 磯部町 恵利原 956

2. 解体建物用途 倉庫

3. 解体建物規模 鉄骨造平屋建 延床面積 51.04 m²

図面リスト

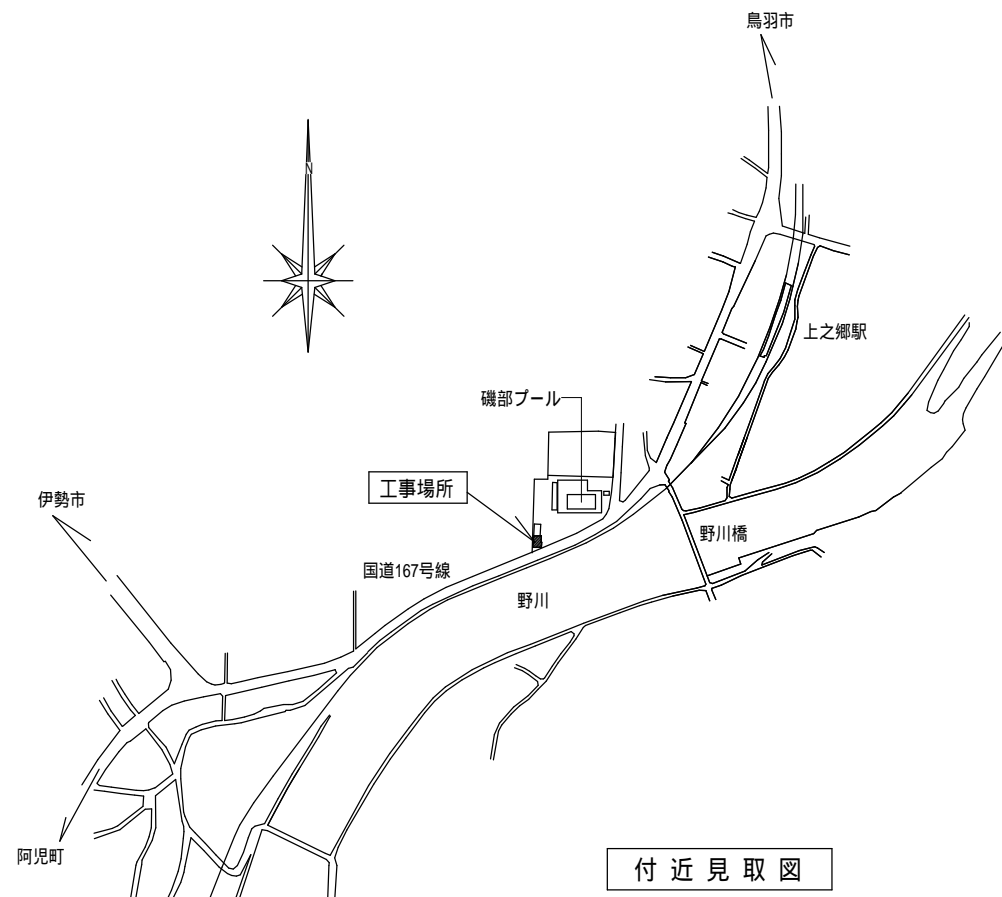
| | |
|-------|--------------------------------|
| 表紙 | |
| 解体-01 | 解体工事概要・図面リスト・付近見取図・概略工事工程表・仕上表 |
| 解体-02 | 解体工事特記仕様書（１） |
| 解体-03 | 解体工事特記仕様書（２） |
| 解体-04 | 配置図・求積図・面積表 |
| 解体-05 | 平面図 |
| 解体-06 | 立面図 |
| 解体-07 | 矩計詳細図 |
| 解体-08 | 断面詳細図 |
| 解体-09 | 建具表 |
| 解体-10 | 内外部家具備品撤去処分詳細図 平面図 |
| 解体-11 | 基礎伏図・小屋伏図・構造リスト・鉄骨詳細図 |
| 解体-12 | 軸組図 |
| 解体-13 | 電灯設備撤去図 平面図 |
| 解体-14 | 場内整備工事 |
| 解体-15 | 仮設計画図（参考図） |
| 裏表紙 | |

外部仕上表

| 屋 根 外 壁 | 外 部 開 口 部 | 内 部 開 口 部 | 備 考 |
|-------------------------------------|--|-------------------------|--------------------------|
| (基礎立上り) コンクリート打放し H=50 | 2連軽量バランスシャッター (5,250W×2,640H) | 片引き木製引込み戸 (800W×1,800H) | (犬走り) コンクリート金コテ押え |
| (屋根) 大波スレート葺き 3.0/10 | 片開きアルミドア (770W×2,000H) 引違いアルミ窓 (1,570W×1,800H) 引違いアルミ窓 (1,600W×1,200H) | 片開き木製扉 (700W×1,750H) | (外部照明) 道路用照明 (ナトリウム灯) |
| (外壁) 垂鉛鉄板 (波板) t=0.19 貼り | 引違いアルミ窓 (1,500W×1,200H) 引違いアルミ窓 (740W×540H) | | |

内 部 仕 上 表

| 階 | 室 名 | 床 | 巾 木 | 壁 | 天 井 | 電 灯 |
|---|-----------|------------------------------|------------------|--|----------------------|-----------|
| 1 | 倉 庫 (1) | コンクリート金コテ押え | コンクリート打放し H=100 | 外壁亜鉛鉄板 (波板) t=0.19 表し 一部外壁亜鉛鉄板 (波板) t=0.19 貼り | 大波スレート表し 鉄骨OP塗装表し | FL40W x 1 |
| | 倉 庫 (2) | 板貼り t=15 | 畳寄せ H= 60 | ラワンベニヤ t=5.5下地 じゅらく塗り | 化粧合板 (杉桤) t=6 敷目板貼り | FL40W x 2 |
| | 前 室 | モルタル金コテ押え | モルタル金コテ H=100 | ラワンベニヤ t=5.5下地 OP塗装 | 石膏ボード t=9 目スカシ貼り | FL40W x 1 |
| | 便 所 | コンクリート金コテ押え (上段)モザイクタイル貼り | 大平板 t=6 貼り H=400 | ラワンベニヤ t=5.5下地 OP塗装 | 野地板 耐水ラワンベニヤ t=12 表し | |



工程表

平成29年

平成30年

| | 10 | 11 | 12 | 1 |
|--------|----|--------|-------|------|
| 仮設工事 | | 足場 | | |
| 解体工事 | | 上屋解体開始 | 基礎解体 | |
| 発生材搬出 | | | 発生材搬出 | |
| 場内整備工事 | | | | 場内整備 |

| | | | | | | |
|--------|---|--------|-----------------------|------------------|--|---------------|
| 【特記事項】 | 西 沢 建 築 設 計 事 務 所 一 級 建 築 士 No. 117422 西 沢 雅 彦 | ・ ・ | 平成29年度 磯部プール倉庫解体工事 | 解体工事概要 図面リスト | | 解体 - 01 |
| | | | | 仕上表 | | |
| | | | | 付近見取図 概略工事工程表 | | |

| | | |
|--|------------|--|
| 建築解体工事特記仕様 | | |
| 1．共通仕様 （1）図面及び特記仕様書に記載されていない事項は、三重県公共工事共通仕様書及び「建築物解体工事共通仕様書（平成24年度）」（以下、「解体共通仕様書」という。）により、解体共通仕様書に記載されていない事項は、国土交通省大臣官房官庁営繕部制定の「公共建築工事標準仕様書（建築工事編）（平成28年版）」（以下、「標準仕様書」という。）及び「公共建築改修工事標準仕様書（建築工事編）（平成28年版）」（以下、「改修標準仕様書」という）「公共建築改修工事標準仕様書（電気設備工事編）（平成28年版）」、「公共建築改修工事標準仕様書（機械設備工事編）（平成28年版）」による。 また、解体共通仕様書中「請負者」とあるのは、「受注者」と読み替えるものとする。 （2）改修工事を本工事に含む場合は、各改修仕様書を適用する。 2．特記仕様 （1）項目は、番号に 印の付いたものを適用する。 （2）特記事項の中で選択する事項（・印の付いたもの）は、○印の付いたものを適用する。 （3）特記事項に記載の[解]内表示番号は、解体共通仕様書の当該項目、当該図又は当該表を示す。 特記事項に記載の[改]内表示番号は、改修標準仕様書の当該項目、当該図又は当該表を示す。 特記事項に記載の[標]内表示番号は、標準仕様書の当該項目、当該図又は当該表を示す。 （4）東海地震に係る地震防災対策強化地域内における工事にあっては「大規模地震対策特別措置法」による注意情報が発せられた場合、受注者は人身の保護及び安全な避難に必要な補強、落下防止等の保防止等の保全措置を講ずるとともに、工事中断の措置をとること。又この事実が発生した場合は、契約書第2 6条（臨機の措置）によって処理されたものとする。 | | |
| 章 | | 特 記 事 項 |
| ① 一 般 共 通 事 項 | ①通用基準等 | 工事写真の撮り方（改訂第二版）建築編 建設大臣官房官庁営繕部監修 ・ 三重県建設副産物処理基準 |
| | ②工事実績情報の登録 | 請負代金額が5 0 0 万円以上（消費税込み）の元請負人は、工事実績情報を [解1.1.4]（財）日本建設情報総合センターの工事実績情報システム（C O R I N S ）に登録するものとする。 なお、登録内容を訂正する必要が生じた場合は、標準仕様書に記載された登録の手順に準じて訂正するものとする。 また、変更契約日と工事完了日の間が、1 0 日に満たない場合は、変更契約時の登録を省略することができるものとする。 |
| | ③工事の記録 | 工事写真 [解1.2.3] |
| | 4 電気保安技術者 | ・適用する [解1.3.3] |
| | ⑤施工条件 | ○ 施工時間 （ 基本 8:30～17：00 ） [解1.3.5] ・ 施工順序 （○指定なし ・図示 ・ ） ・ 工事用車両の駐車場 （○指定なし ・図示 ・敷地内 ・ ） ・ 資機材置場 （○指定なし ・図示 ・敷地内 ・ ） ・ 現場事務所 （○指定なし ・図示 ・敷地内 ・ ） ・ 発注者に引渡しを要するもの [解1.3.10] ・ 金属類 ・ P C B 含有物（5 章 3～4 項参照） ・ 引渡しを要するもの、再資源化を図るものについては調書を作成して監督職員へ提出すること。 ○引き渡しに要する以外のものには、全て構外に搬出し、建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律、資材の有効な利用を促進する法律、廃棄物の処理及び清掃に関する法律、その他関係法令によるほか、「建設副産物適正処理推進要綱」に従い適切に処理し監督職員に報告する。 （マフストA、B2、D、E票を提示し、集計表を提出すること。） |
| | ⑦騒音・振動の防止 | 低騒音型・低振動型建設機械の指定に関する規定に基づき指定された建設機械の使用に努めること。 |
| | ⑧近隣との折衝 | 工事の施工に当たったの近隣との折衝は、次による。また、その経過について記録し、遅滞なく監督職員に報告する。 （1）地域住民等と工事の施工上必要な折衝を行うものとし、あらかじめその概要を監督職員に報告する。 （2）工事に関して、第三者から説明の要求または苦情があった場合は、直ちに誠意をもって対応する。 |

| | | |
|-----------------------|--------------|---|
| 章 | | 特 記 事 項 |
| ② 仮 設 工 事 | ①騒音・粉塵等の対策 | 騒音・粉塵等の対策 [解2.2.1] 防音パネル ・防音シート ・メッシュシート、養生シート等 設置範囲及び高さ 図示 ・ 足場 ・枠組足場 ・単管本足場 ○×び緊結式足場 足場を設ける場合、「手すり先行工法に関するガイドライン」について（厚生労働省 平成21年4月）の「手すり先行工法等に関するガイドライン」によるものとし、足場の組立、解体、変更の作業時及び使用時には、常時、すべての作業床について手すり、中さん及び幅木の機能を有するものを設置しなければならない。 なお、設置においては、「手すり先行工法による足場の組立て等に関する基準」（厚生労働省 平成21年4月「手すり先行工法に関するガイドライン」について（別紙1））における2の（2）手すり据置方式、又は（3）手すり先行専用足場方式により行うこと。 |
| | ②監督職員事務所 | ・ 設ける [解2.3.1] ・ 構内既存建物の一部を使用する。 ・ 構内に新設する。 規模(m 2 程度) ・1 0 ・2 0 ・3 5 ・6 5 ・1 0 0 ○設けない |
| | ③工事用水 | 構内既存の施設 ・ 利用できる（・ 有償 ・ 無償）○ 利用できない |
| | ④工事用電力 | 構内既存の施設 ・ 利用できる（・ 有償 ・ 無償）○ 利用できない 本工事で新規受電または既設電気回路に接続し通電した時から工事に起因する電力料金は本工事に含まれる。 |
| ③ 解 体 施 工 | ③1 杭の解体 | 杭の解体 ・行う ・行わない [解3.8.2] 杭の解体工法 ・引抜き工法 ・破砕による解体 |
| | 2 樹木等 | 樹木の伐採抜根 [解3.9.1] ・ 行う ・ |
| | 3 地下埋設物、埋設配管 | 地中埋設物及び埋設配管の解体 [解3.10.1] ・ 行う ・ |
| | ④解体後の整地 | 解体後の埋戻し及び盛土 [解3.11.1] [標表3.2.1] ○ 行う（各層30cm程度毎に締め固めること） 整地高さ ○現状G L ○図示（場内整備工事図参照） 種別 ・ A 種 ・ B 種 ・ C 種 ・ D 種 ・建設汚泥から再生した処理土 C 種の場合 「建設発生土情報交換システム」を活用し、以下の土質の土とする。 発生土利用基準（国営計第59号平成18年 8 月10日） 表 - 3 適用用途標準（1）・第1種、第2種、第3種 ・ D 種の場合 「セメント及びセメント系固化材を使用した改良土の六価クロム溶出試験実施要領（案）」により、六価クロム溶出試験を行う。 建設汚泥から再生した処理土の場合 「建設汚泥処理土利用技術基準について（国営計第41号 平成18年6月12日）表 - 4 建設汚泥処理土の適用用途標準」における下記の区分とする。 ・第3種処理土 ・ ・行わない ○行う ・行わない |
| | ⑤基礎の撤去 | |

| 章 | | 特 記 事 項 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|---------------------------|------------|--|-----------------|--|--|-----|------|----------|------------|-----------|-----------------------|--------|-----------|-----------------------|-------------|-----------|-----------------------|-----|-----------|-----------------------|---------------------------|-----------|-----------------------|-----------------|--|--|-----|------|----------|-----|------------|------------------------|-----|------------|------------------------|-----|------------|------------------------|-------|------------|------------------------|--------|------------|------------------------|------|------------|------------------------|
| 建設廃棄物の処理 | ④①発生材の処理等 | <p>注）以降4章及び5章に示す内容については、積算上の条件明示であり、処理施設を指定するものではない。なお、提示する施設と異なる場合は、監督職員と協議する。</p> <p>●建設副産物情報交換システムの利用</p> <p>請負者は受注時において述べ面積が80㎡以上の解体工事については、工事着手前に「再生資源利用計画書」及び「再生資源利用促進計画書」を監督職員に提出すること。また、工事完了後にはJACIICが運営する「建設副産物情報交換システム」へ実施報告書を行うこと。</p> <p>なお、これにより難い場合は、監督職員と協議しなければならない。</p> <p>本工事の施工にあたっては「建築工事における建設副産物管理マニュアル」を参考に適切な処理に努めるものとする。</p> <p>●特定建設資材の再資源化等</p> <p>本工事が、特定建設資材を用いた建築物等に係る解体工事又はその施工に特定建設資材を使用する新築工事等であって、その規模が「建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律」（平成12年5月31日法第104号 以下「建設リサイクル法」という。）施行令又は、都道府県が条例で定める建設工事等であって、その規模に関する基準以上の工事（以下「対象工事」という。）である場合は、建設リサイクル法に基づき分別解体等及び特定建設資材の再資源化等の実施について適切な措置を講ずることとする。</p> <p>なお、本工事における特定建設資材の分別解体等・再資源化等については、別表1又は2の積算条件を設定しているが、工事請負契約書「7解体工事に要する費用等」に定める事項は契約締結時に発注者と受注者の間で確認されたものであるため、発注者が積算上条件明示した別表の事項と別の方法であった場合でも変更の対象としない。但し、現場条件や数量の変更等、受注者の責によるものではない事項については、この限りでない。工事契約後に明らかになったやむをえない事情により、予定した条件により難い場合は、監督職員と協議するものとする。</p> <p>本工事が「建設リサイクル法」の対象工事外である場合においても前記に準じ適切な措置を講ずるものとする。</p> <p>建設リサイクル法 ・対象工事 ●対象工事外</p> <p>・別表1 建築物に係る解体工事</p> <table><tr><th colspan="3">工程ごとの作業内容及び解体方法</th></tr><tr><th>工 程</th><th>作業内容</th><th>分別・解体の方法</th></tr><tr><td>●建築設備、内装材等</td><td>●有 ・ 無</td><td>●手作業 ・ 手作業と機械作業の併用</td></tr><tr><td>●屋根ふき材</td><td>●有 ・ 無</td><td>●手作業 ・ 手作業と機械作業の併用</td></tr><tr><td>●外装材・上部構造部分</td><td>●有 ・ 無</td><td>●手作業 ・ 手作業と機械作業の併用</td></tr><tr><td>●基礎</td><td>●有 ・ 無</td><td>・ 手作業 ●手作業と機械作業の併用</td></tr><tr><td>●その他 （ 祭り用備品 軽トラック 船 ）</td><td>●有 ・ 無</td><td>●手作業 ・ 手作業と機械作業の併用</td></tr></table> <p>・別表2 建築物以外の物に係る解体工事又は新築工事等（ ・外構 ・工作物等 ）</p> <table><tr><th colspan="3">工程ごとの作業内容及び解体方法</th></tr><tr><th>工 程</th><th>作業内容</th><th>分別・解体の方法</th></tr><tr><td>・仮設</td><td>・ 有 ・ 無</td><td>・ 手作業 ・ 手作業と機械作業の併用</td></tr><tr><td>・土工</td><td>・ 有 ・ 無</td><td>・ 手作業 ・ 手作業と機械作業の併用</td></tr><tr><td>・基礎</td><td>・ 有 ・ 無</td><td>・ 手作業 ・ 手作業と機械作業の併用</td></tr><tr><td>・本体構造</td><td>・ 有 ・ 無</td><td>・ 手作業 ・ 手作業と機械作業の併用</td></tr><tr><td>・本体付属品</td><td>・ 有 ・ 無</td><td>・ 手作業 ・ 手作業と機械作業の併用</td></tr><tr><td>・その他</td><td>・ 有 ・ 無</td><td>・ 手作業 ・ 手作業と機械作業の併用</td></tr></table> <p>手作業・機械作業を併用する理由</p> <p>●建築設備の取り外し （ 近隣住居への騒音の配慮 ）</p> <p>●内外装材料の取り外し （ 近隣住居への騒音の配慮 ）</p> | 工程ごとの作業内容及び解体方法 | | | 工 程 | 作業内容 | 分別・解体の方法 | ●建築設備、内装材等 | ●有 ・ 無 | ●手作業 ・ 手作業と機械作業の併用 | ●屋根ふき材 | ●有 ・ 無 | ●手作業 ・ 手作業と機械作業の併用 | ●外装材・上部構造部分 | ●有 ・ 無 | ●手作業 ・ 手作業と機械作業の併用 | ●基礎 | ●有 ・ 無 | ・ 手作業 ●手作業と機械作業の併用 | ●その他 （ 祭り用備品 軽トラック 船 ） | ●有 ・ 無 | ●手作業 ・ 手作業と機械作業の併用 | 工程ごとの作業内容及び解体方法 | | | 工 程 | 作業内容 | 分別・解体の方法 | ・仮設 | ・ 有 ・ 無 | ・ 手作業 ・ 手作業と機械作業の併用 | ・土工 | ・ 有 ・ 無 | ・ 手作業 ・ 手作業と機械作業の併用 | ・基礎 | ・ 有 ・ 無 | ・ 手作業 ・ 手作業と機械作業の併用 | ・本体構造 | ・ 有 ・ 無 | ・ 手作業 ・ 手作業と機械作業の併用 | ・本体付属品 | ・ 有 ・ 無 | ・ 手作業 ・ 手作業と機械作業の併用 | ・その他 | ・ 有 ・ 無 | ・ 手作業 ・ 手作業と機械作業の併用 |
| 工程ごとの作業内容及び解体方法 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 工 程 | 作業内容 | 分別・解体の方法 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| ●建築設備、内装材等 | ●有 ・ 無 | ●手作業 ・ 手作業と機械作業の併用 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| ●屋根ふき材 | ●有 ・ 無 | ●手作業 ・ 手作業と機械作業の併用 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| ●外装材・上部構造部分 | ●有 ・ 無 | ●手作業 ・ 手作業と機械作業の併用 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| ●基礎 | ●有 ・ 無 | ・ 手作業 ●手作業と機械作業の併用 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| ●その他 （ 祭り用備品 軽トラック 船 ） | ●有 ・ 無 | ●手作業 ・ 手作業と機械作業の併用 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 工程ごとの作業内容及び解体方法 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 工 程 | 作業内容 | 分別・解体の方法 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| ・仮設 | ・ 有 ・ 無 | ・ 手作業 ・ 手作業と機械作業の併用 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| ・土工 | ・ 有 ・ 無 | ・ 手作業 ・ 手作業と機械作業の併用 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| ・基礎 | ・ 有 ・ 無 | ・ 手作業 ・ 手作業と機械作業の併用 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| ・本体構造 | ・ 有 ・ 無 | ・ 手作業 ・ 手作業と機械作業の併用 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| ・本体付属品 | ・ 有 ・ 無 | ・ 手作業 ・ 手作業と機械作業の併用 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| ・その他 | ・ 有 ・ 無 | ・ 手作業 ・ 手作業と機械作業の併用 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

| | | | | | | |
|--------|---|--------|---|----------------|--|---------|
| 【特記事項】 | 西 沢 建 築 設 計 事 務 所 一 級 建 築 士 No. 117422 西 沢 雅 彦 | ・ ・ | 平成 29 年度 志 摩 市 磯 部 プ ー ル 倉 庫 解 体 工 事 | | | 解体 - 02 |
| | | | | 解体工事特記仕様書（ 1 ） | | |
| | | | | | | |

章

④

建設廃棄物の処理

②再資源化等

[解4.4.1]

| 建設廃棄物の種類 | 中間処理施設又は再資源化施設の名称等 | 所在地 |
|---|--------------------|-----|
| コンクリート | ・ | ・ |
| コンクリート及び鉄から成る建設資材 (PC板、コンクリート平板、 コンクリート二次製品等) | ・ | ・ |
| 木材 木材(縮減) | ・ | ・ |
| アスファルトコンクリート | ・ | ・ |
| 金属類 | ・ | ・ |
| 小型二次電池 | ・ | ・ |
| ・ | ・ | ・ |

| 建設廃棄物の種類 | 再資源化の有無 | 再資源化施設の名称等 | 所在地 |
|-----------------------|---------------------|------------|-----|
| 蛍光灯、 HIDランプ | ・再資源化する ・再資源化しない | ・ | ・ |
| 硬質塩化ビニル 管・継手 | ・再資源化する ・再資源化しない | ・ | ・ |
| 硬質塩化ビニル ライニング鋼管・継手 | ・再資源化する ・再資源化しない | ・ | ・ |
| ・ | ・再資源化する ・再資源化しない | ・ | ・ |

[解4.4.1]

| 種類 | 再利用する場所(箇所)等 |
|----|--------------|
| ・ | ・ |
| ・ | ・ |
| ・ | ・ |
| ・ | ・ |

[解4.4.2]

| 種類 | 所在地等 |
|----|------|
| ・ | ・ |
| ・ | ・ |
| ・ | ・ |
| ・ | ・ |

[解4.4.2]

| 種類 | 処理施設の名称等 | 所在地等 |
|----|----------|------|
| ・ | ・ | ・ |
| ・ | ・ | ・ |
| ・ | ・ | ・ |
| ・ | ・ | ・ |

[解4.5.1]

| 種類 | 処理施設の名称等 | 所在地等 |
|-----------------------|----------|------|
| CCA処理木材 | ・ | ・ |
| ひ素・カドミウム含有 せっこうボード | ・ | ・ |
| ・ | ・ | ・ |
| ・ | ・ | ・ |

[標3.2.5]

・構外搬出適切処理
・自由処分
・処分地指定 処分地()
・処分地未定につき相互協議する。暫定運搬距離 8Km

3 現場利用する再資源化された建設廃棄物

4 産業廃棄物広域認定制度の活用

5 最終処分する建設廃棄物

6 処理に注意を要する建設廃棄物

⑦建設発生土の処理

章

5

特別管理産業廃棄物の処理等

1 施工調査

[解5.1.3]

| 分析調査を行う特別管理 管理産業廃棄物の種類 | 採取する部位 又は箇所等 | 採取する数量 |
|---------------------------|-----------------|--------|
| ・ | ・ | ・ |
| ・ | ・ | ・ |
| ・ | ・ | ・ |
| ・ | ・ | ・ |

[解5.4.1]

| 特別管理産業廃棄物の種類 | 処理施設の名称等 | 所在地等 |
|--------------|----------|------|
| ・ | ・ | ・ |
| ・ | ・ | ・ |
| ・ | ・ | ・ |
| ・ | ・ | ・ |
| | | |

引渡しを要する機器類

[解5.4.3]

・

・

注) 照明器具安定器にPCBが使用されている場合は、安定器を本体より分離して金属箱に収納し、表示を付して建物管理者に引き渡す(報告書共)こと。

PCB含有分析調査

[解5.4.4]

・第一次判定
現場にてサンプルを採取し、シーリング材種及び分析の要否を判定する。
採取箇所数：計()箇所
採取箇所： 図示(図面()による)

・第二次判定
専門分析機関にてPCB含有量の分析を行う。
分析個数：計()箇所

撤去方法

・「標準施工要領書(日本シーリング工事業協同組合連合会/日本シーリング材工業会)」による。

・

撤去範囲

図示(図面()による)・

[解5.4.1]

| 回収又は処分を行う特 殊な建設副産物の種類 | 対象機器名称 | 回収業者又は 処分場の名称等 | 保管場所・処分場 の所在地等 |
|--------------------------|--------|-------------------|-------------------|
| | | | |
| | | | |
| | | | |
| | | | |
| | | | |

2 特別管理産業廃棄物の処分

3 PCBを含む機器類

4 PCB含有シーリング材

5 特殊な建設副産物の回収及び処分

章

⑥

アスベスト含有建材の除去等

①適用

[改9.1.1]

アスベスト含有建材の除去等については、「公共建築改修工事標準仕様書(建築工事編)(平成28年度版)」 「9章 環境配慮改修工事」 「1節 アスベスト含有建材の処理工事」による。

採取箇所
・屋根材大波スレート
・外部大平板
・前室天井(石膏ボード t=9)
・上記以外の建材について目視による調査を行う。

目視による分析の必要なアスベスト含有建材の調査
・行う ・行わない [改9.1.1]

分析方法
・JIS A 1481「建材製品中のアスベスト含有率測定方法」による。
分析方法結果については監督職員に報告すること。(箇所あたり3試料)

| 材 料 名 | 定性分析(箇所数) | 定量分析(箇所数) |
|-------|-----------|-----------|
| ・ | ・ | ・ |
| ・ | | ・ |

測定時期、場所及び測定点 [改9.1.1]

| 適用名称 | 測定時期 | 測定場所 | 測定点 (各施工箇所ごと) |
|------|------------------|---------------------|------------------------------|
| ・測定1 | 処理作業前 | 処理作業室内 | ・計()点 |
| ・測定2 | | 調査対象室外部の付近 | ・計()点 |
| ・測定3 | 処理作業中 | 処理作業室内 | ・計()点 |
| ・測定4 | | 負圧・除じん装置の 排出吹出し口 | 出口吹出し風速1m/sec以下の位置 ・計()点 |
| ・測定5 | | 処理作業室外(敷地境界) | ・計()点 |
| ・測定6 | 処理作業後 シート養生中) | 処理作業室内 | ・計()点 |
| ・測定7 | 処理作業後シート | 処理作業室内 | ・計()点 |
| ・測定8 | 撤去後1週間以降 | 調査対象室外部の付近 | ・計()点 |

測定方法

| | 測定3 | 測定1、2、4、6、7、8 | 測定5 |
|----------------|-----|---------------|------|
| メッシュ径(mm) | 2.5 | 2.5 | 4.7 |
| 試料の吸引流量(L/min) | ・1 | ・5 | ・10 |
| 試料の吸引時間(min) | ・5 | ・120 | ・240 |

4 アスベスト含有吹付け材の除去

[改9.1.3]

・アスベスト含有吹付け材の除去
除去対象範囲 ・図示
除去工法 ・(9.1.3)(b)(i)~(iv)による
除去したアスベスト含有吹付け材の処理
・密封処理
・セメント固化 除去したアスベスト含有吹付け材の溶融固化
・無 ・有り(場所：)

5 アスベスト含有保温材等の除去

[改9.1.4]

除去対象範囲 ・図示(図面()による)
作業場の隔離 ・行う

⑥アスベスト含有成形板の除去

[改9.1.5]

除去対象範囲
・屋根材(大波スレート)
・外部大平板
・前室天井(石膏ボード t=9)

除去工法
・作業場は、散水等により湿潤化し、手ばらしによること。
・やむを得ず破壊しなければならない場合には、十分に湿潤化した状態で行うこと。

[改9.1.5]

・除去物については、粉塵の飛散防止に努め、特に破砕されたアスベスト含有成形版については、湿潤化の上、丈夫なプラスチック袋に入れる等の飛散防止措置を講ずること。

⑦石綿作業主任者

・石綿障害予防規則 第19条に基づく、「石綿作業主任者」を選任すること。

【特記事項】

西 沢 建 築 設 計 事 務 所

一 級 建 築 士 No. 117422 西 沢 雅 彦

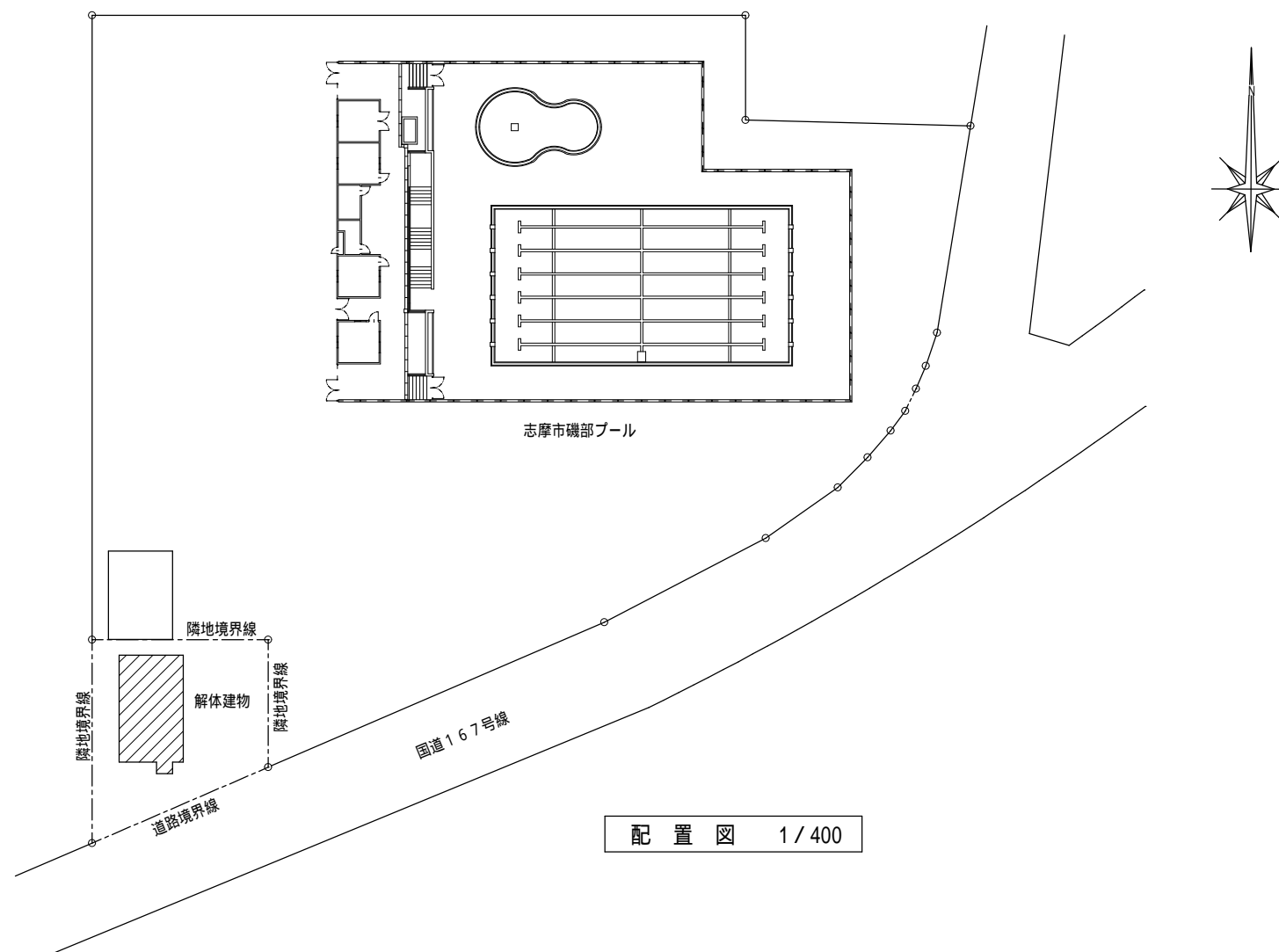
・

平成29年度 志摩市磯部プール倉庫解体工事

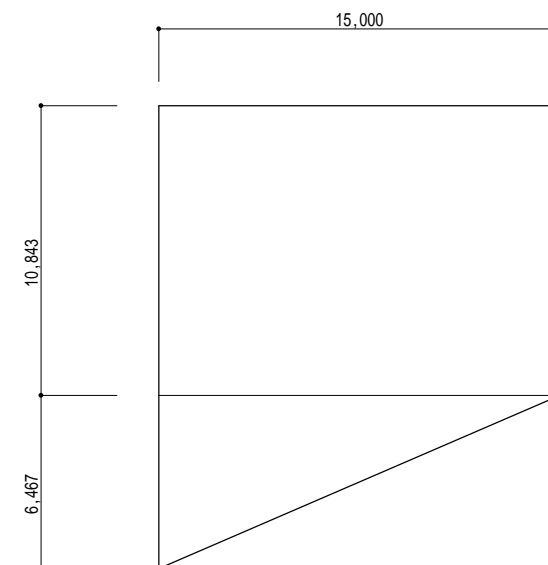
・

解体工事特記仕様書(2)

解体 - 03

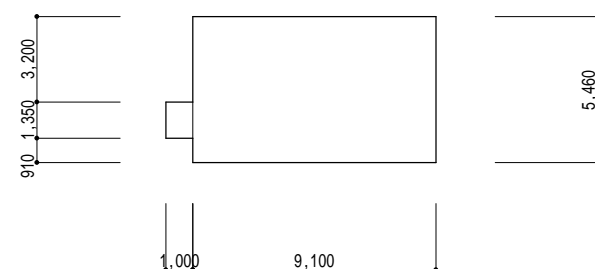


配置図 1 / 400



敷地面積求積図 1 / 200

| | | | | |
|----------|---|--------|---|---------------------------|
| (敷地面積) | | | | |
| 15.00 | × | 10.843 | = | 162.645 |
| 15.00 | × | 6.467 | × | 1/2 = 48.5025 |
| 計 | | | | 211.1475 |
| | | | | (211.15) m ² |



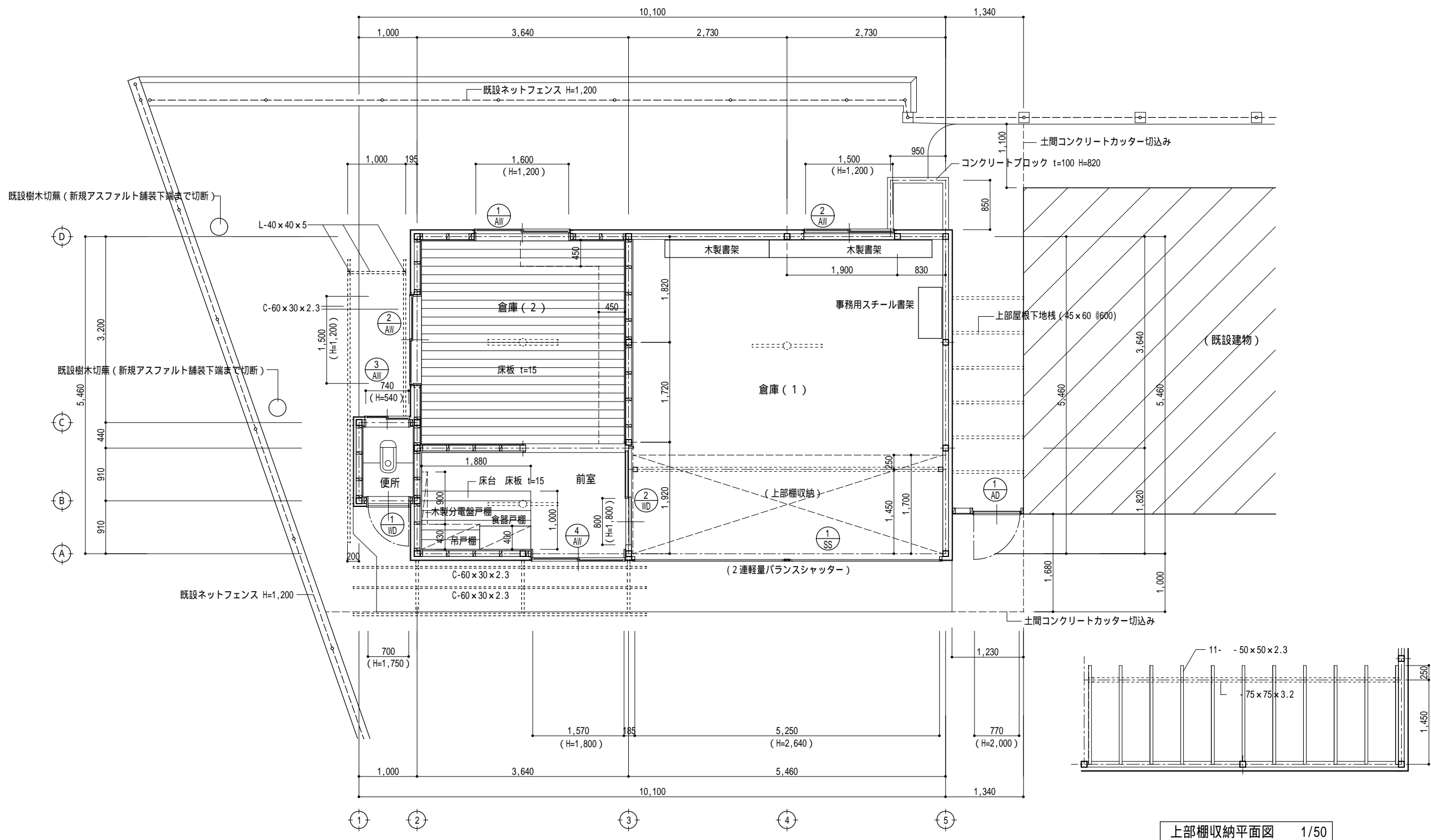
床面積・建築面積 求積図 1 / 200

| | | | |
|--------------|---|-------------------------------|----------|
| (床面積・建築面積) | | | |
| 9.10 | × | 5.46 | = 49.686 |
| 1.00 | × | 1.35 | = 1.35 |
| | | 51.036 (51.04) m ² | |

(地名地番) 志摩市磯部町恵利原 956

| 面積表 (m ²) | |
|------------------------|--------|
| 敷地面積 | 211.15 |
| 建築面積 | 51.04 |
| 床面積 | 51.04 |

| | | | | | | |
|--------|-------------------|---------|-----------------------|-----|-------------------|---------|
| 【特記事項】 | 西 沢 建 築 設 計 事 務 所 | ・ ・ | 平成29年度 志摩市磯部プール倉庫解体工事 | 配置図 | A2:1/400・A3:1/563 | 解体 - 04 |
| | | | | 求積図 | A2:1/200・A3:1/282 | |
| | | | | 面積表 | | |
| | 一級建築士 No. 117422 | 西 沢 雅 彦 | | | | |



【特記事項】

西 沢 建 築 設 計 事 務 所

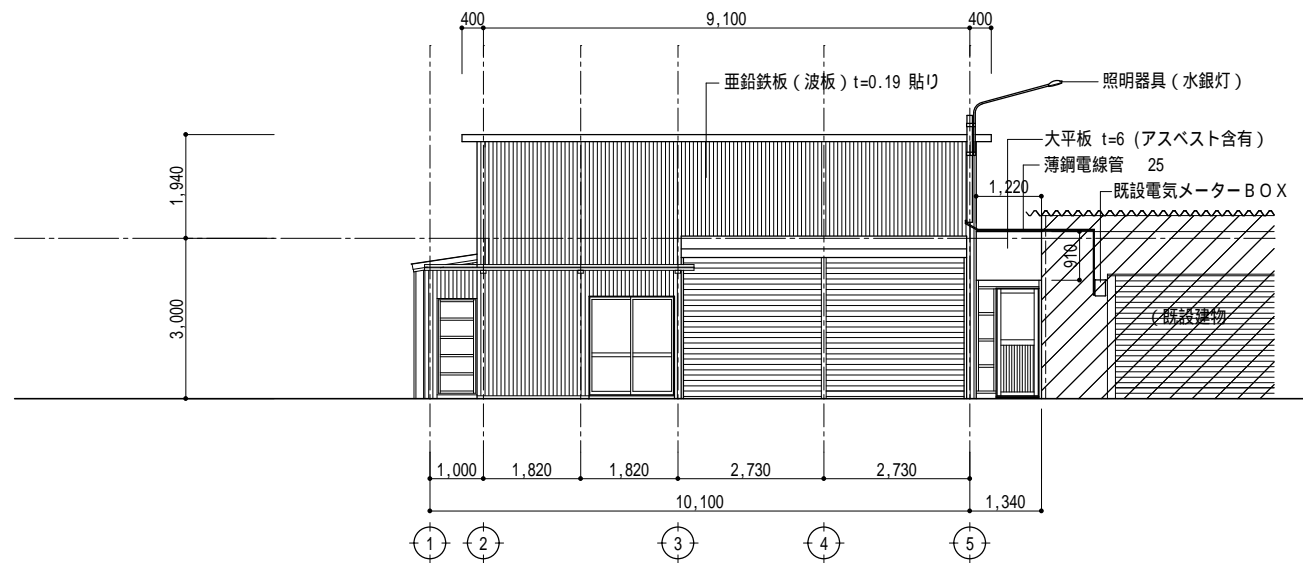
一 級 建 築 士 No. 117422 西 沢 雅 彦

平成 29 年 度 志 摩 市 磯 部 プ ール 倉 庫 解 体 工 事

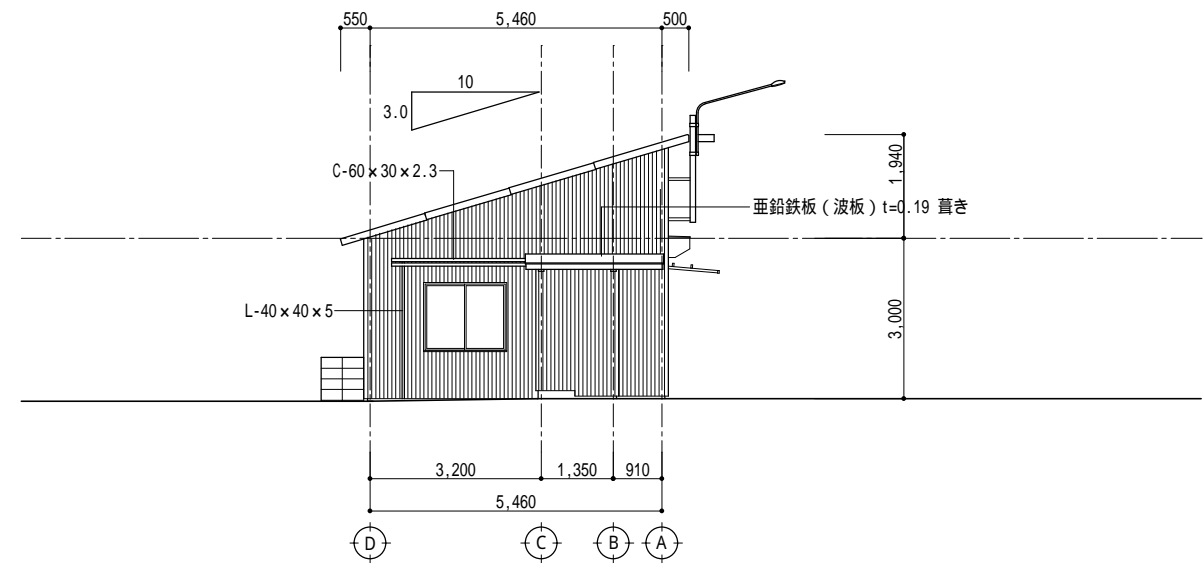
平 面 図

A2:1/50・A3:1/282

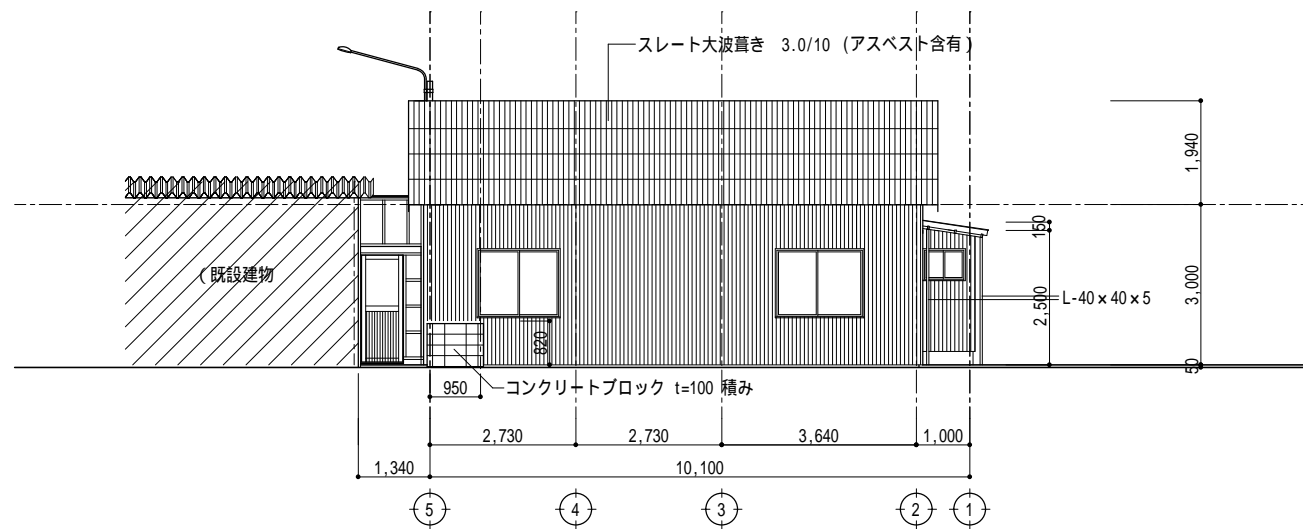
解体 - 05



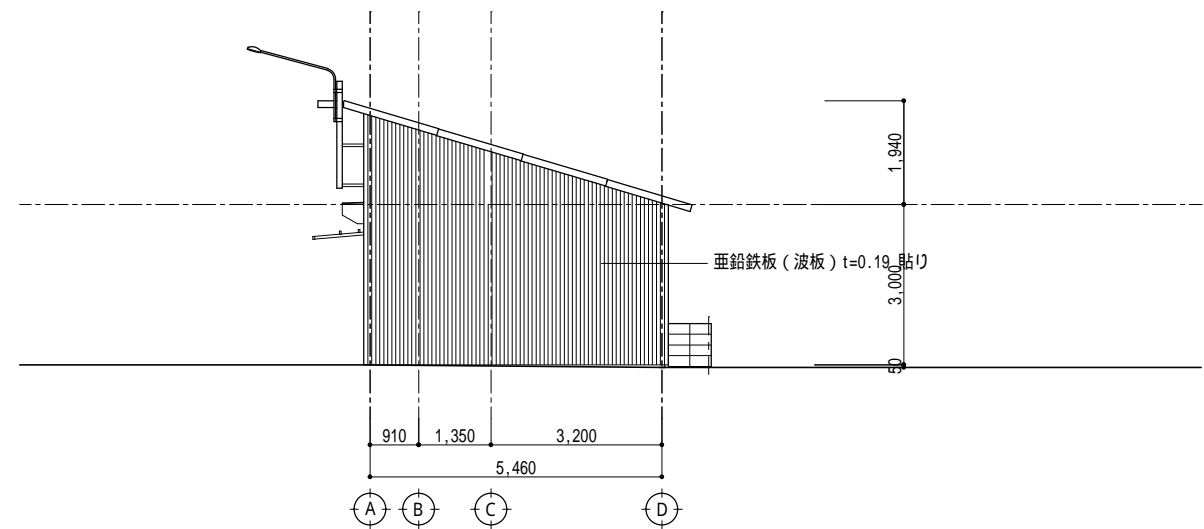
東立面図 1/100



南立面図 1/100

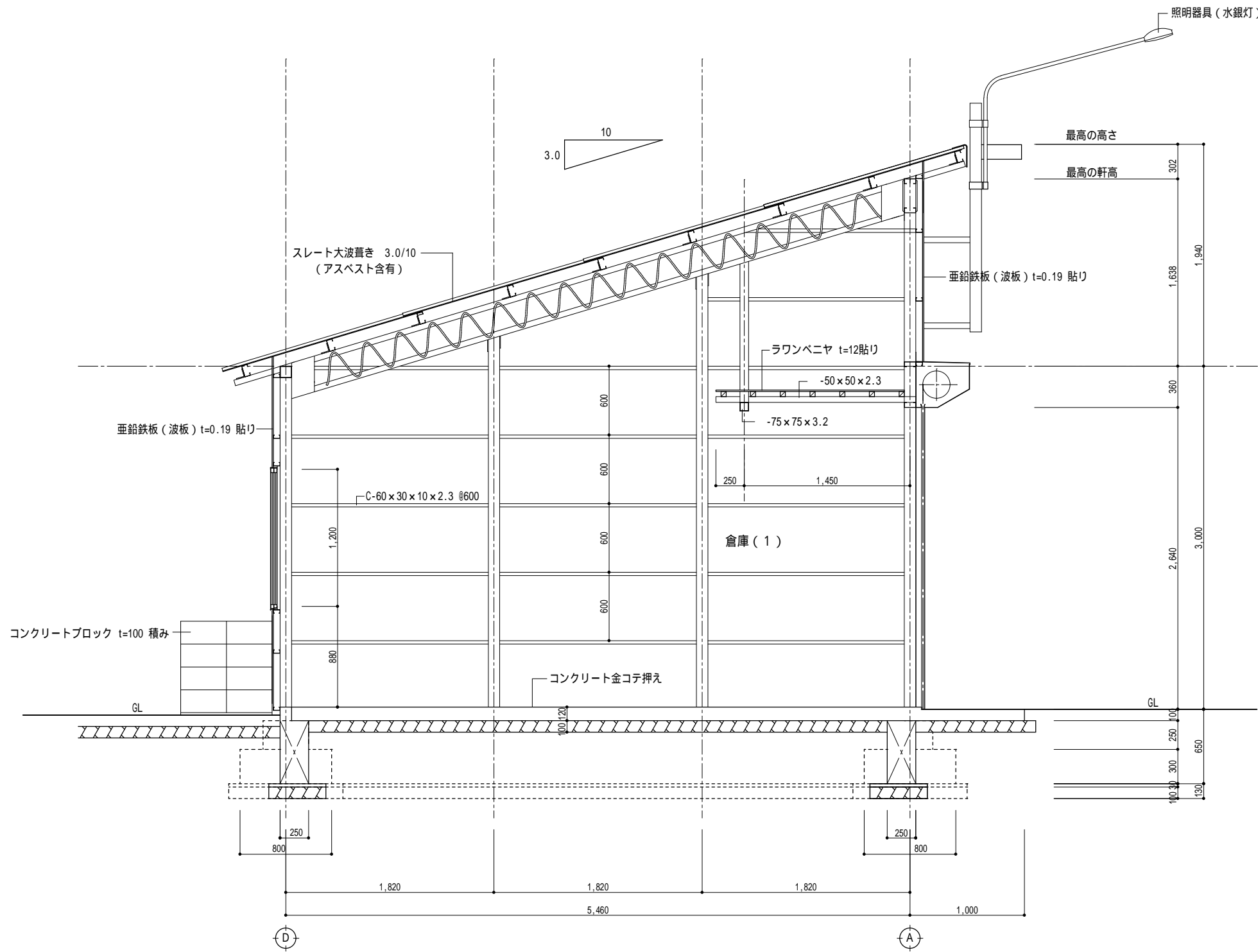


西立面図 1/100



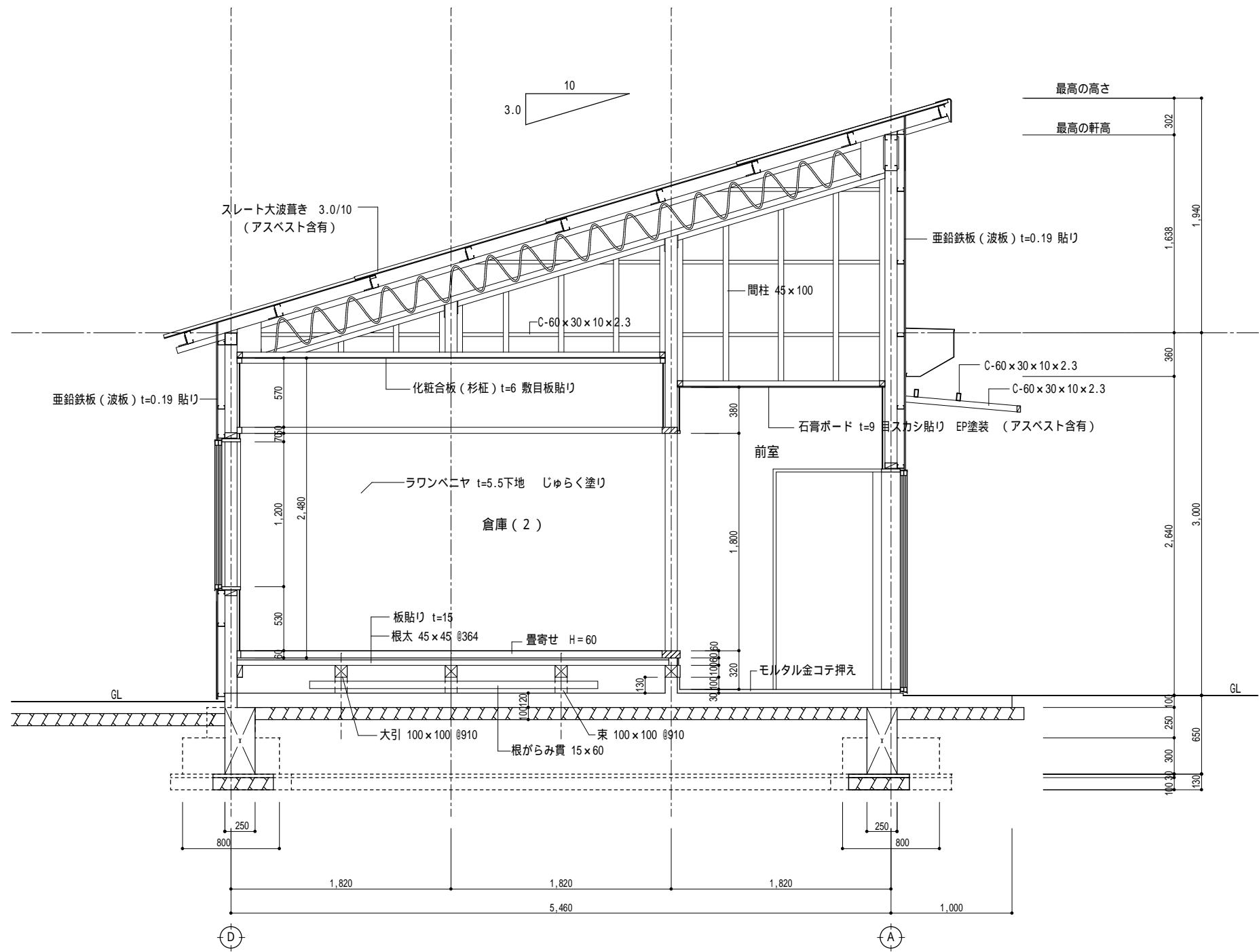
北立面図 1/100

| | | | | | | |
|--------|-----------------------|---|-----------------------|-----|-------------------|---------|
| 【特記事項】 | 西 沢 建 築 設 計 事 務 所 | ・ | 平成29年度 志摩市磯部プール倉庫解体工事 | 立面図 | A2:1/100・A3:1/141 | 解体 - 06 |
| | | | | | | |
| | | | | | | |
| | 一級建築士 No. 117422 西沢雅彦 | | | | | |



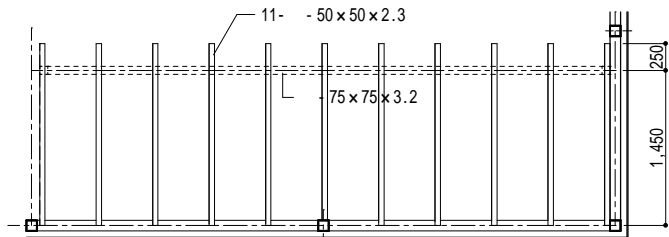
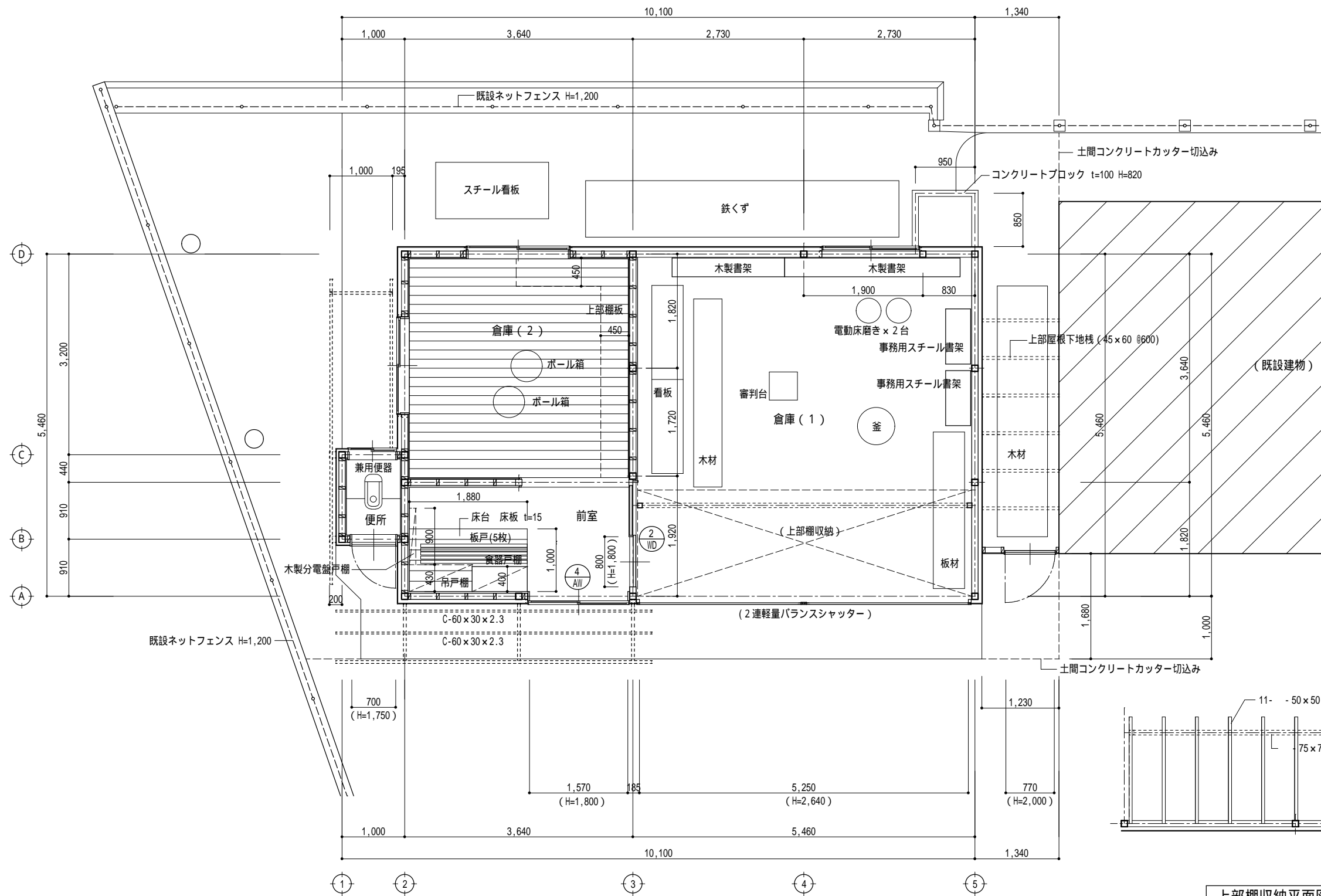
矩計詳細図 1/30

| | | | | | | |
|--------|---|--------|-----------------------|-------|-----------------|---------|
| 【特記事項】 | 西 沢 建 築 設 計 事 務 所 一 級 建 築 士 No. 117422 西 沢 雅 彦 | ・ ・ | 平成29年度 志摩市磯部プール倉庫解体工事 | 矩計詳細図 | A2:1/30・A3:1/42 | 解体 - 07 |
| | | | | | | |
| | | | | | | |



| | | | | | | |
|--------|---|--------|---------------------------------------|-------|-----------------|---------|
| 【特記事項】 | 西 沢 建 築 設 計 事 務 所 一 級 建 築 士 No. 117422 西 沢 雅 彦 | ・ ・ | 平 成 29年 度 志 摩 市 磯 部 プ ー ル 倉 庫 解 体 工 事 | 断面詳細図 | A2:1/30・A3:1/42 | 解体 - 08 |
| | | | | | | |
| | | | | | | |

| | | | | | | |
|------|-------------------|--|-----------------|--|---------|--|
| 記 号 | ① SS | | ① AD | | | |
| 場 所 | 倉庫（１） | | 外部 | | | |
| 型 式 | 2連 軽量バランスシャッター | | 片開きアルミドア | | | |
| 内 法 | 5,250×2,640 | | 770×2,000 | | | |
| 数 量 | 1 | | 1 | | | |
| 見 込 | 80(枠) | | 70 | | | |
| 付属金物 | シャッターBOX | | 丁番 握り玉付シンダー錠 | | | |
| 硝 子 | | | 型 t=4 | | | |
| 材 質 | スチール | | アルミ | | | |
| 塗 装 | OP | | 腰：アルミパネル | | | |
| 備 考 | | | | | | |
| 記 号 | ① AW | | ② AW | | ③ AW | |
| 場 所 | 倉庫（２） | | 倉庫（２） | | | |
| 型 式 | 引違いアルミ窓 | | 引違いアルミ窓 | | | |
| 内 法 | 1,600×1,200 | | 1,500×1,200 | | | |
| 数 量 | 1 | | 2 | | | |
| 見 込 | 70 | | 70 | | | |
| 付属金物 | クレセント | | クレセント | | | |
| 硝 子 | トーマイ t=3 | | トーマイ t=3 | | | |
| 材 質 | アルミ | | アルミ | | | |
| 塗 装 | | | | | | |
| 備 考 | | | | | | |
| 記 号 | ④ AW | | | | | |
| 場 所 | 前室 | | | | | |
| 型 式 | 引違いアルミ窓 | | | | | |
| 内 法 | 1,570×1,800 | | | | | |
| 数 量 | 1 | | | | | |
| 見 込 | 70 | | | | | |
| 付属金物 | クレセント | | | | | |
| 硝 子 | 型 t=4 | | | | | |
| 材 質 | アルミ | | | | | |
| 塗 装 | | | | | | |
| 備 考 | | | | | | |
| 記 号 | ① WD | | ② WD | | | |
| 場 所 | 便所 | | 前室 | | | |
| 型 式 | 片開き木製扉 | | 片引きフラッシュ戸 | | | |
| 内 法 | 700×1,750 | | 800×1,800 | | | |
| 数 量 | 1 | | 1 | | | |
| 見 込 | 40(扉) | | 40(扉) | | | |
| 付属金物 | 丁番 | | 船底引手、レール | | | |
| 硝 子 | 木枠,ラワンベニヤ t=5.5 | | | | | |
| 材 質 | 木製 | | 木製 | | | |
| 塗 装 | | | | | | |
| 備 考 | | | | | | |

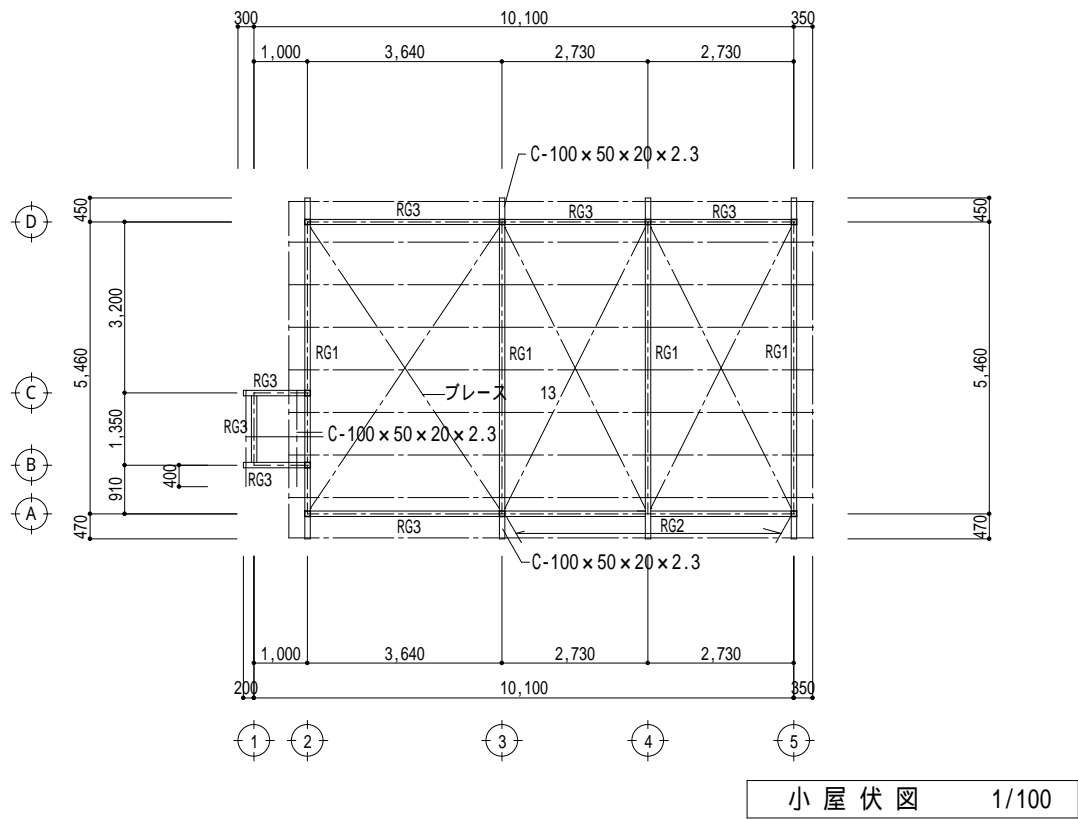


上部棚収納平面図 1/50

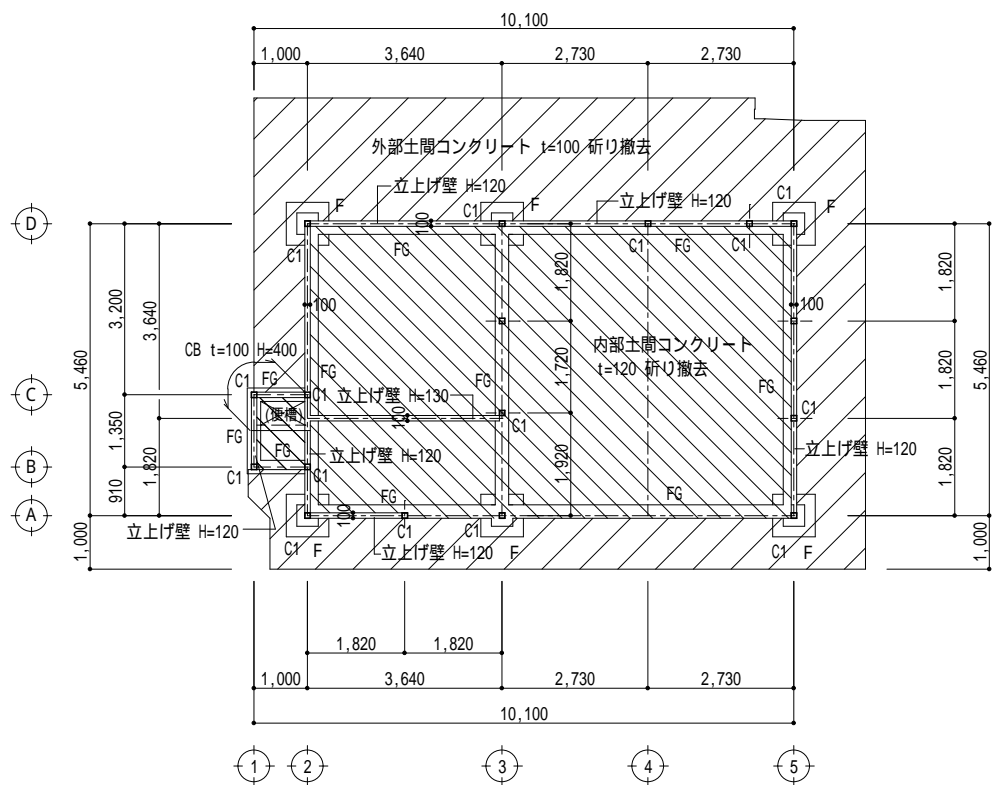
平面図 1/50

内部仕上材及び家具備品はダストボックス（混廃）にて処分とする。
(長尺大形家具は現場切込みし、無駄のない使用とする。)

| | | | | |
|--------|---|-----------------------|------------------|---------|
| 【特記事項】 | 西 沢 建 築 設 計 事 務 所 一 級 建 築 士 No. 117422 西 沢 雅 彦 | 平成29年度 志摩市磯部プール倉庫解体工事 | 内外部家具備品撤去処分詳細図 | 解体 - 10 |
| | | | 平面図 | |
| | | | A2:1/50・A3:1/282 | |



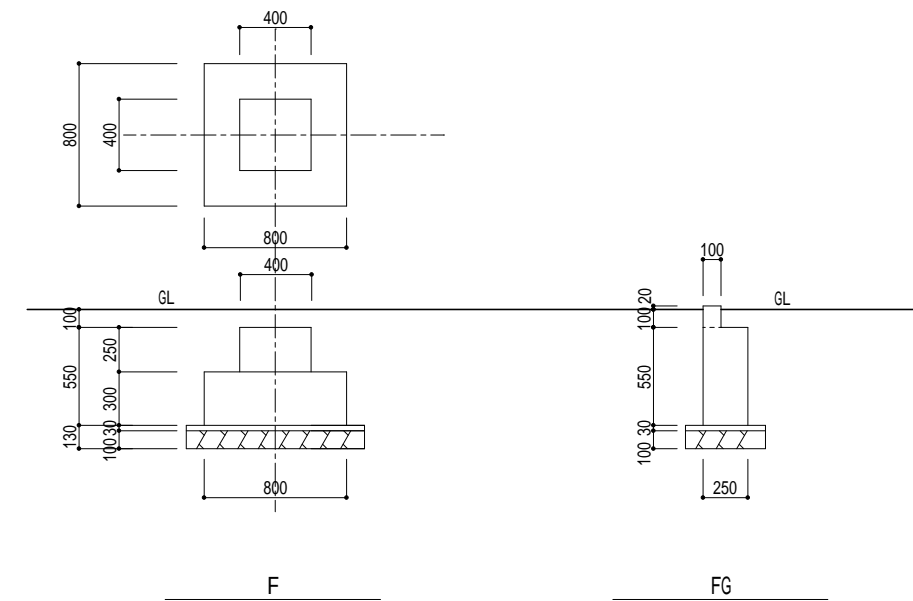
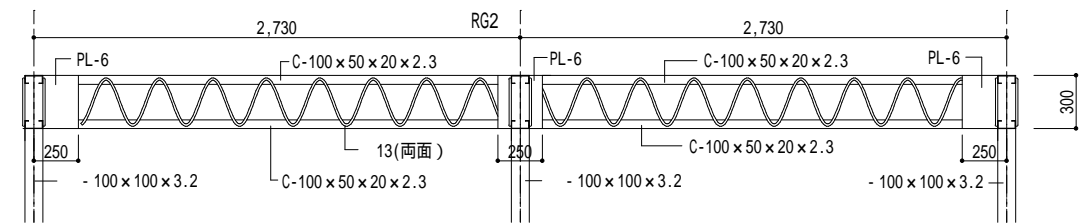
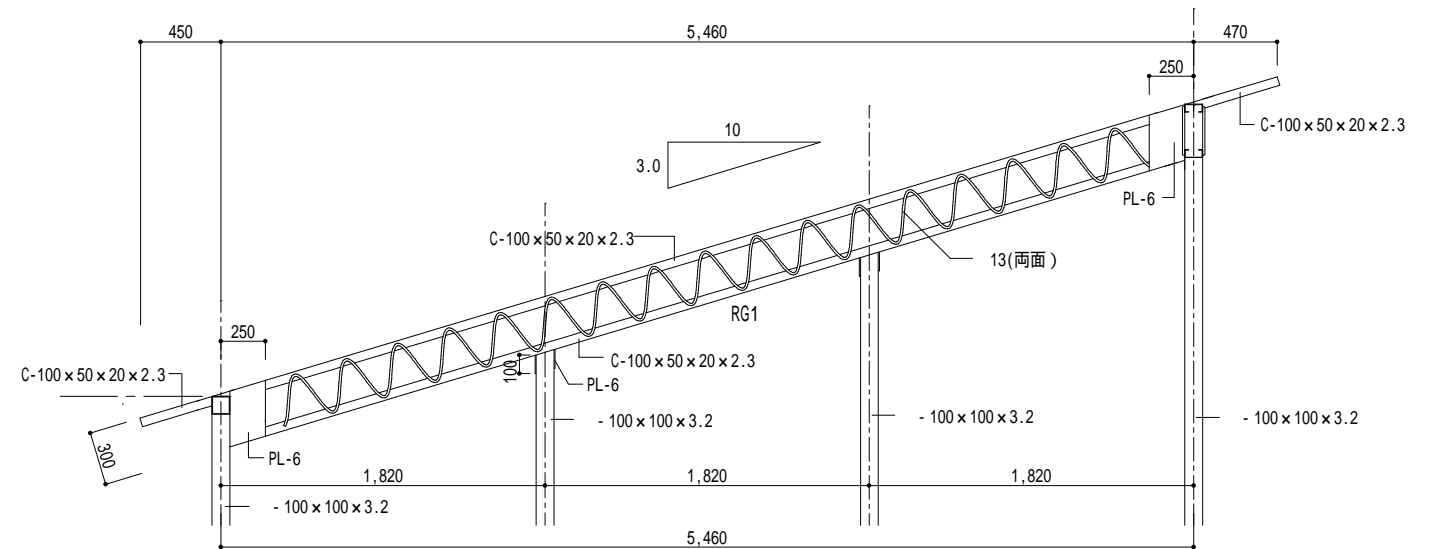
小屋伏図 1/100



基礎伏図 1/100

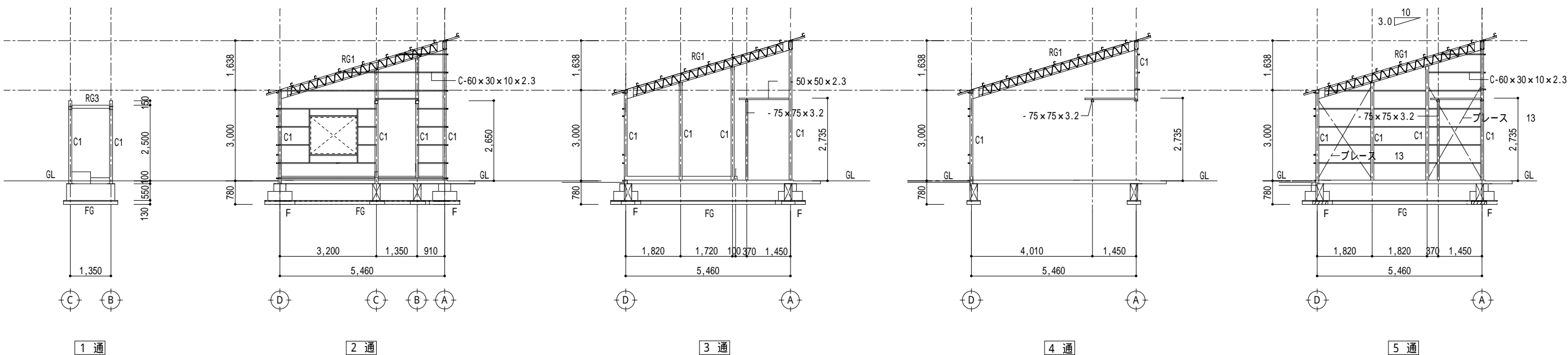
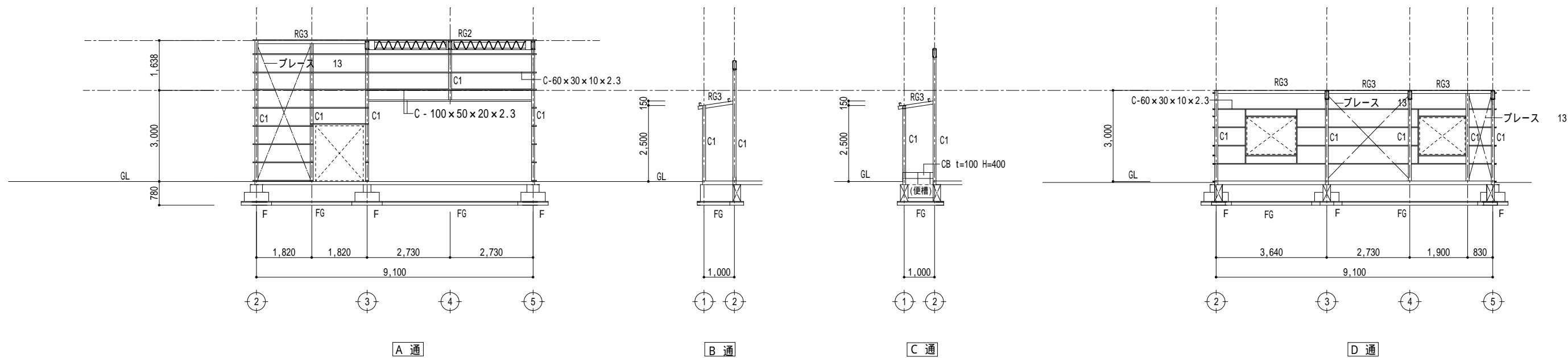
構造リスト

| | |
|------|-------------------------|
| C1 | - 100 x 100 x 3.2 |
| RG3 | - 100 x 100 x 3.2 |
| 母屋 | C - 100 x 50 x 20 x 2.3 |
| 胴縁 | C-60 x 30 x 10 x 2.3 |
| ブレース | 1 - 13 |

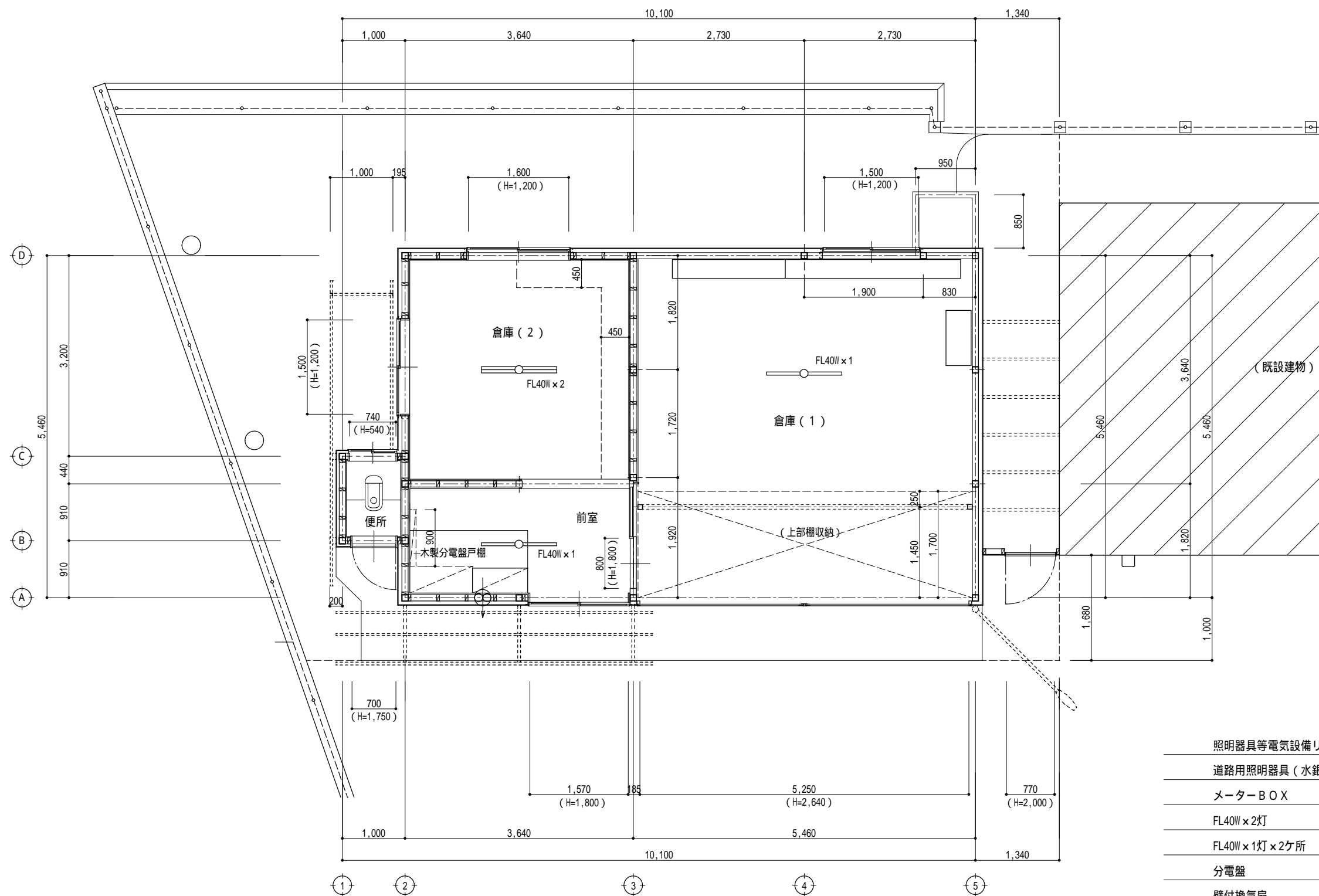


構造リスト 鉄骨詳細図 1/30

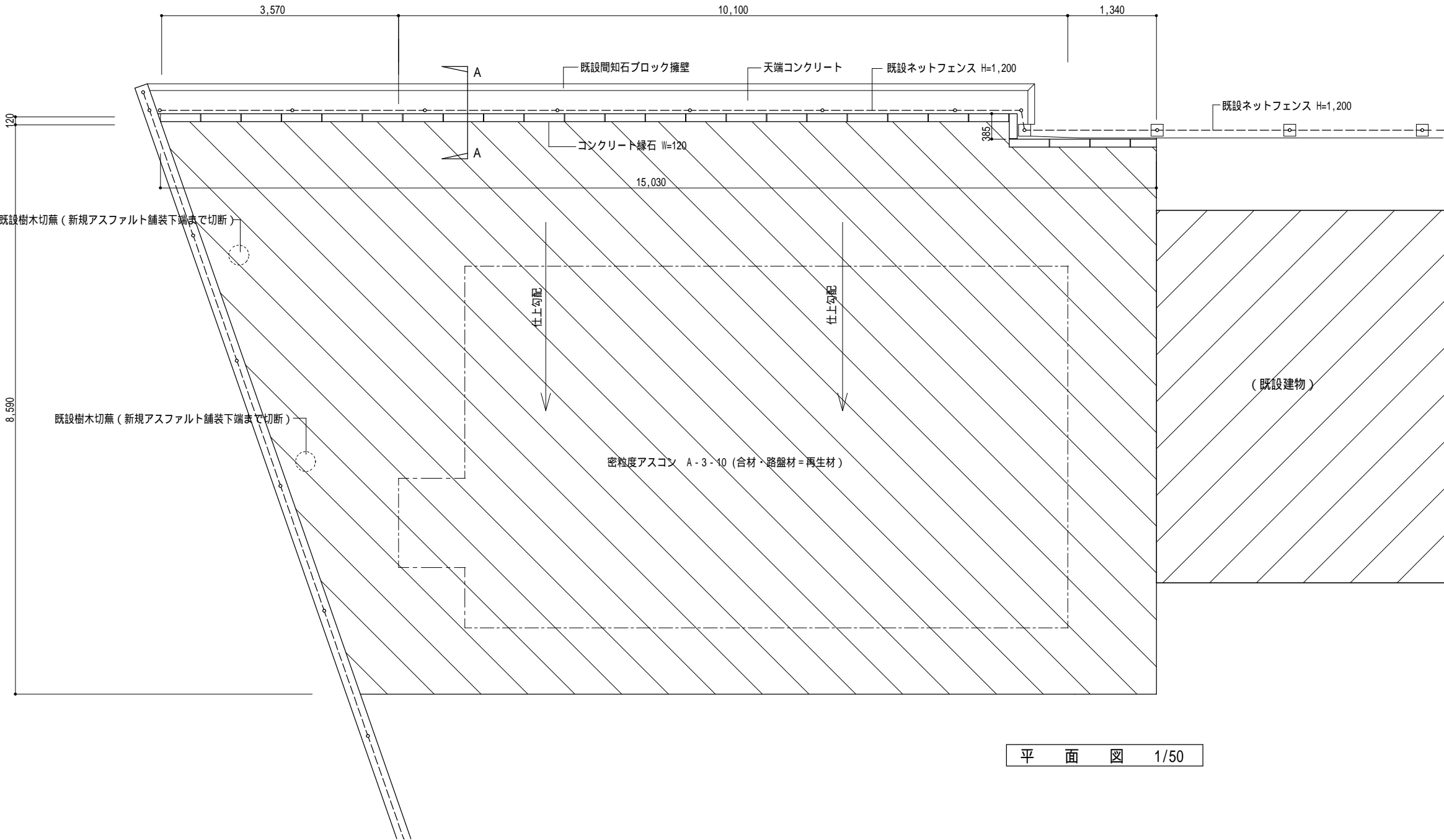
| | | | | | | |
|--------|--------------------------|---|-----------------------|-------------|-------------------|---------|
| 【特記事項】 | 西 沢 建 築 設 計 事 務 所 | 。 | 平成29年度 志摩市磯部プール倉庫解体工事 | 基礎伏図 | A2:1/100・A3:1/141 | 解体 - 11 |
| | 一級建築士 No. 117422 西 沢 雅 彦 | 。 | | 小屋伏図 | A2:1/100・A3:1/141 | |
| | | | | 構造リスト 鉄骨詳細図 | A2:1/30・A3:1/42 | |



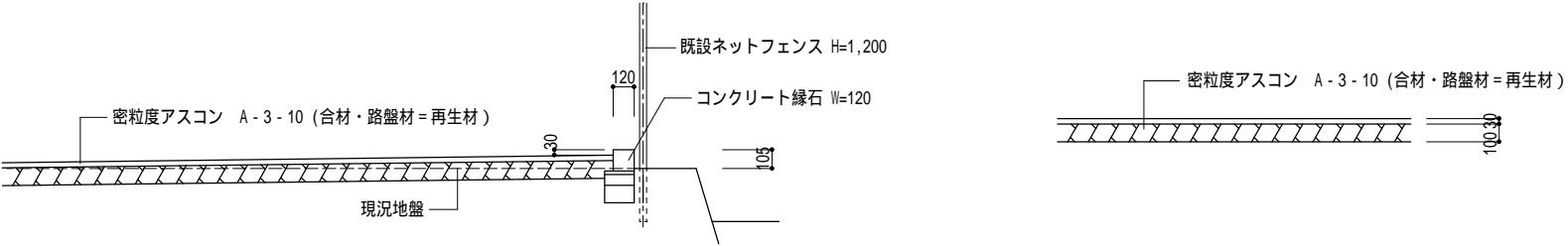
| | | | | | | |
|--------|------------------------------|---|-----------------------|-------|-------------------|---------|
| 【特記事項】 | 西 沢 建 築 設 計 事 務 所 | ・ | 平成29年度 志摩市磯部プール倉庫解体工事 | 軸 組 図 | A2:1/100・A3:1/141 | 解体 - 12 |
| | | | | | | |
| | | | | | | |
| | 一 級 建 築 士 No. 117422 西 沢 雅 彦 | | | | | |



平面図 1/50

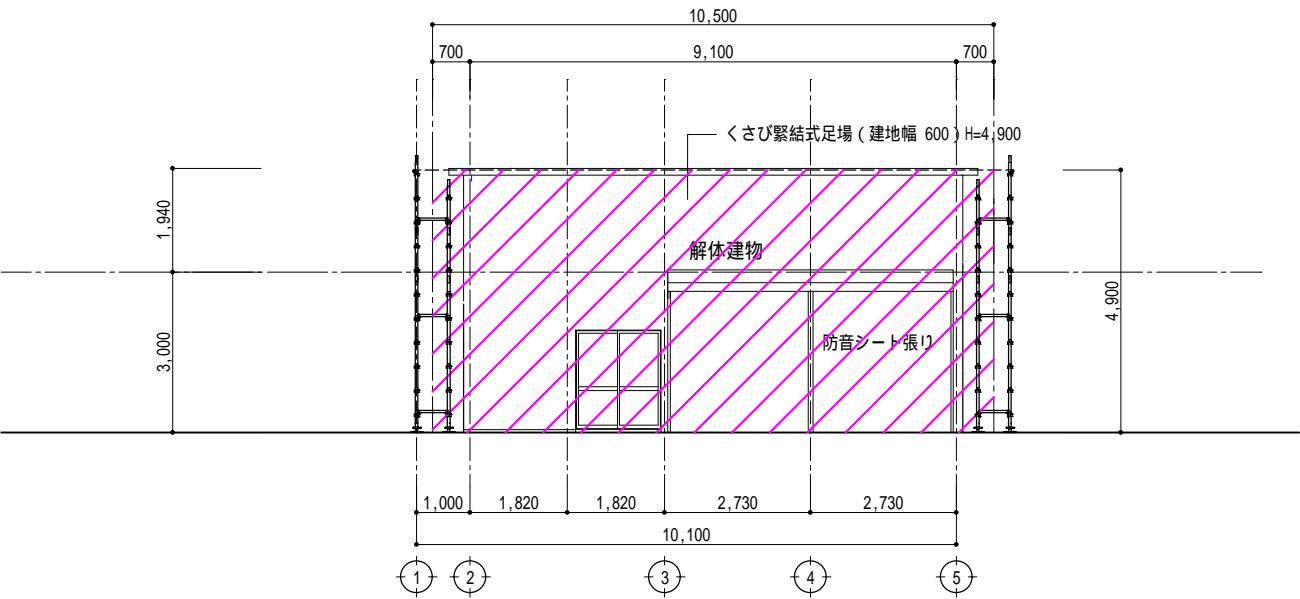


平面図 1/50

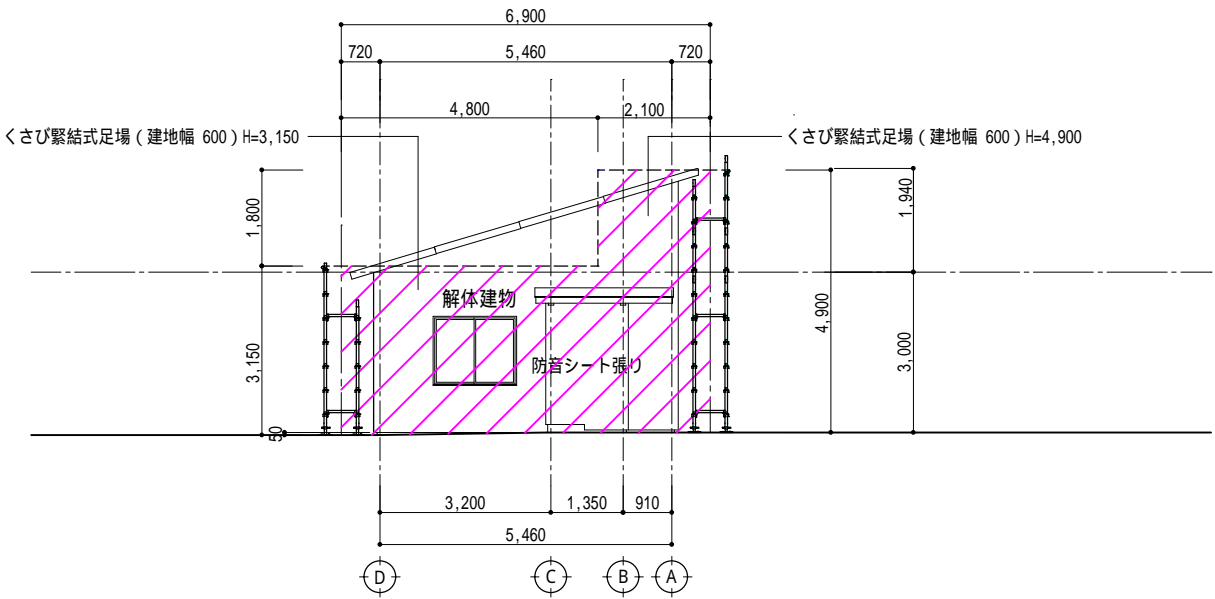


A-A 断面図 1/30

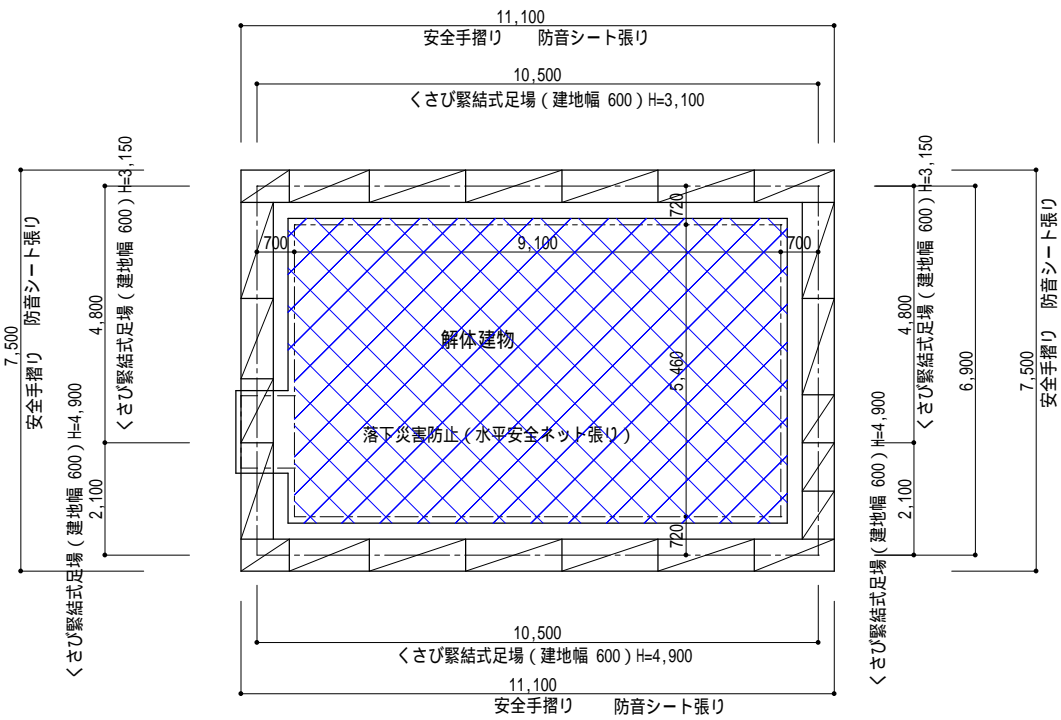
| | | | | | | |
|--------|-----------------------|--------|-----------------------|--------|------------------|---------|
| 【特記事項】 | 西 沢 建 築 設 計 事 務 所 | ・ ・ | 平成29年度 志摩市磯部プール倉庫解体工事 | 場内整備工事 | | 解体 - 14 |
| | | | | 平面図 | A2:1/50・A3:1/282 | |
| | | | | | | |
| | 一級建築士 No. 117422 西沢雅彦 | | | | | |



東立面図 1/100



南立面図 1/100



平面図 1/100

| | | | | | | |
|--------|-------------------|---|--------------------------------------|-------------|-------------------|---------|
| 【特記事項】 | 西 沢 建 築 設 計 事 務 所 | ・ | 平成 29 年度 志 摩 市 磯 部 プ ー ル 倉 庫 解 体 工 事 | 仮設計画図 (参考図) | A2:1/100・A3:1/141 | 解体 - 15 |
| | | | | 平面図 立面図 | | |
| | | | | | | |